

# 補助金個別相談会

国の補助金とは、「国の政策目標」を達成するために、その目的にあった事業をサポートするお金のことです。

補助金の3つのポイントは、①それぞれの補助金ごとに目的と仕組み、②補助を受けられるのは一部の費用、③補助の有無やその額については審査があります。ついては、個別相談会を開催しますので、希望者の方は是非ご出席ください。なお、補助金の内容は裏面をご覧ください。

## 1 日程

(1) 小規模事業者持続化補助金

①3/13 (火)、②3/20 (火) 各9:30~16:30

(2) ものづくり補助金

①3/16 (金)、②3/22 (木) 各9:30~16:30

2 場所 赤磐商工会 本部 1階 会議室 (Tel086-955-0144)

3 講師 中小企業診断士 松本 直也 氏、難波 三郎 氏

4 お問い合わせ先 赤磐商工会 Tel086-955-0144

平成30年 月 日

【返信先】FAX 086-955-0376 (赤磐商工会本部)

## 補助金個別相談会申込書

事業所名		業種	
参加者名		連絡先	
区分	持続化	日程	<input type="checkbox"/> 3/13 ・ <input type="checkbox"/> 3/20
		時間	<input type="checkbox"/> 9:30 ・ <input type="checkbox"/> 13:00 ・ <input type="checkbox"/> 15:00
	ものづくり	日程	<input type="checkbox"/> 3/16 ・ <input type="checkbox"/> 3/22
		時間	<input type="checkbox"/> 9:30 ・ <input type="checkbox"/> 13:00 ・ <input type="checkbox"/> 15:00
参加有無	※ <input checked="" type="checkbox"/> にチェックを入れてください		

※申込多数の場合は、後日時間変更等をお願いすることがございます。

# 小規模事業者支援パッケージ事業

平成29年度補正予算案額 **120.0億円**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 小規模事業者は、事業者数で9割を占め、地元からの雇用者比率も高く、その持続的発展が地域経済にとって極めて重要です。
- 一方、小規模事業者は、人口減少やグローバル化など、地域経済の構造変化の影響を大きく受けており、既存の顧客・商圏を超えた販路開拓や生産性向上に向けた取組を通じ、「生産性革命」を実現するとともに、足下で喫緊の課題となっている事業承継、働き方改革・人材不足などへの対応を図ることが必要です。
- そのため、小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって取り組む販路開拓や生産性向上の取組を支援します。特に、事業承継の円滑化に資する取組の一層の重点化を図ります。
- また、展示会・商談会の開催や販売拠点の設置などにより小規模事業者単独では難しい広域での販路開拓を支援します。

### 成果目標

- 小規模事業者持続化補助金等により約20,000者の販路開拓及び生産性向上を支援し、販路開拓につながった事業の割合を80%とすることを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 1. 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が将来の事業承継も見据え、ビジネスプランに基づいた経営を推進していくため、商工会・商工会議所と一体となって経営計画を作成し、販路開拓に取り組む費用を支援します。  
賃上げ等の従業員の処遇改善を実施する事業者について補助上限額を増額するとともに、事業承継に向けた取組、生産性向上に向けた取組を実施する事業者を重点的に支援します。

<小規模事業者持続化補助金>

補助率：2/3

補助上限額：50万円

100万円

（賃上げ、海外展開、買物弱者対策等）

500万円（将来の事業承継を見据えた共同設備投資等）

等

### 2. 広域型販路開拓環境整備事業

商工会・商工会議所をはじめとする中小企業・小規模事業者団体等が、ブランドの磨き上げ、展示会・商談会の開催、都市部での販売拠点（アンテナショップ）の設置、インターネット通販サイトなどの環境を提供していくことを支援。

小規模事業者等が取り扱う商品・サービスのブランディング、認知度向上、テストマーケティングの実施、消費者と接する機会の創出を目指します。

# ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業

平成29年度補正予算案額 **1000.0億円**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 足元の強い経済を構築するためには、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者の生産性向上を図ることが必要です。
- 中小企業・小規模事業者が、認定支援機関と連携して、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援します。また、設備投資等とあわせて専門家に依頼する費用も支援します。
- 2020年度までの集中投資期間中、生産性向上のための新たな設備投資を強力に後押しするため、自治体の自主性に配慮しつつ、固定資産税の負担軽減のための措置を講じ、これに合わせて、本予算等による重点支援を行います（固定資産税ゼロの特例を措置した自治体において、当該特例措置の対象となる事業者について、その点も加味した優先採択を行います）。

### 成果目標

- 事業終了後5年以内に事業化を達成した事業が半数を超えることを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

- 認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかに取り組むものであること。
- 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。



## 事業イメージ

### 1. 企業間データ活用型（補助上限額：1,000万円/者※、補助率2/3）

複数の中小企業・小規模事業者が、事業者間でデータ・情報を共有し、連携体全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援します。

（例）データ等を共有・活用して、受発注、生産管理等を行って、連携体が共同して新たな製品を製造したり、地域を越えた柔軟な供給網の確立等により連携体共同して新たなサービス提供を行う取組など

※ 連携体は10者まで。さらに200万円×連携体参加数を上限額に連携体内で配分可能

【3社連携の場合】A社	1000万円	+	200万円×3=600万円	（連携体内で配分可能）
B社	1000万円			
C社	1000万円			

### 2. 一般型（補助上限額：1,000万円、補助率1/2）※

中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援します。

※ 平成30年通常国会提出予定の生産性向上の実現のための臨時措置法（仮称）に基づく先端設備等導入計画（仮称）の認定又は経営革新計画の承認を取得して一定の要件を満たす者は、補助率2/3

### 3. 小規模型（補助上限額：500万円、補助率：小規模事業者2/3、その他1/2）

小規模な額で中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援します。（設備投資を伴わない試作開発等も支援）

● 専門家を活用する場合 補助上限額30万円アップ（1～3共通）